

明和町小学校区編制にかかる基本計画（案）第2回就学前児童保護者対象説明会 主な質問・意見等に対する回答

①教育面について

＜質問・意見等一覧＞

⇒

＜回答＞

| | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・新しい小学校は、かなりの大人数になると思う。1クラス何人の子がいて、何クラスくらいを想定しているのか。 ・あまり人数が多くなり過ぎないように、先生がきちんと児童をみれる人数でクラス編成してほしい。 ・小学校が再編された後の子どもたちが不安にならないよう心のケアなども少し心配。 ・学校在校中に校区再編になることから、環境の変化に児童が戸惑う事が予想される。児童をフォローアップするために担任だけでなく、副担任の教員も配置する事や常勤のスクールカウンセラーを配置する事などの手厚い人員体制で学校教育を行うように体制の整備を希望する。 ・自分の子が下御系小学校へ進む予定だが、人数が少なく校区再編後の学校生活に馴染めるのか不安。編制後の子どもたちのフォローをしっかりとお願いしたい。 | <p>1クラスあたり35人学級を想定し、全校で700人くらいの児童数となる予定です。1学年あたりのクラス数は3～4クラスとなる見込みです。</p> <p>令和3年10月より学校の開校に向けた準備委員会を立ち上げる予定であり、その中で、校区再編対象となる地域同士の交流事業の実施などを行い、子どもたちの不安を払拭していきたいと思っております。それと併せ、教職員の配置についても可能な限り配慮できるよう三重県教育委員会とも協議していきます。</p> |
|--|--|

②校区編制について

＜質問・意見等一覧＞

⇒

＜回答＞

| | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・第2期再編小学校について、第1期再編小学校に隣接するように建設することを念頭に、とあるが、小学校が隣り合わせにあることがイメージ湧かない。なぜ、隣同士で小学校を建設しようとしたのか教えてほしい。 | <p>町内の小学校全てで小中一貫教育を実施していく予定であり、明和中学校や小学校同士が近くにあった方が児童生徒や先生同士の連携を深められるので、今回のような計画としました。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・自分の子が明星小だが、このままでは6年間クラス替えが無い。令和8年の校区再編よりも前に修正小学校区や斎宮小学校区（平尾地区）を明星小学校へ再編することはできないのか。明星小学校の規模ももっと大きくしてほしい。 | <p>修正小学校については令和5年度もしくは令和6年度で斎宮小学校か明星小学校への再編を念頭に今後修正小学校区の保護者や地域の方々と意見交換会を実施していく予定ですので、令和8年の校区再編より前にクラス編成が変わる可能性があります。</p> |

③学校選択制について

＜質問・意見等一覧＞

⇒

＜回答＞

| | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度時点で5年生、4年生、1年生の3人の子どもがいる。下の子は新しい学校へ行くかまだ分からないが、仮に斎宮小学校へ入った場合、2年間は上の子がいるので斎宮小学校へ通えると思うが、上の子が卒業した後の3年生からはどうなるのか。 ・転校しなくてはいけない地区になると思うので、転校について詳しく聞きたい。 | <p>令和8年度以降の北野地区は第1期再編小学校区となりますが、移行期間として令和8年度時点で小学校に在学している児童については、原則、卒業するまで事前に選択した学校（斎宮小学校または第1期再編小学校）へ通学していただきます。仮に一番下のお子様を上のお子様と同じ斎宮小学校へ通わせたい場合は、小学校へ上がる前に区域外通学の申請をしていただくこととなります。上のお子様卒業した後も引き続き斎宮小学校へ通わせたい場合は、同様に区域外通学の申請をしていただき、許可基準に該当すれば、そのまま斎宮小学校へ通学していただくことを想定しています。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・新しい小学校ができた場合、下御系小学校の児童は何年生であろうと全員通学先が変わるのか。移行期間を設ける可能性はないのか。 | <p>第1期再編小学校の校区を現在の大淀、上御系、下御系の各小学校及び、斎宮小学校の北野、東野、平尾及びクイーンヒルズの4地区といたします。移行期間については、閉校とならない斎宮小学校の上述の4地区のみ設定させていただきますので、下御系小学校については令和8年度当初より全員が第1期再編小学校へ通学していただきます。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・一部の地域は自由に学校を選べる制度は無くし、明確にエリア分けをした方が良くと思う。 | <p>今回の校区再編により斎宮小学校の一部地域が第1期再編小学校の校区となります。現在斎宮小学校へ通っている児童への配慮のため、第1期再編小学校開校後5年の移行期間が経過するまでは、対象地域に学校選択制を導入させていただく予定です。</p> |

④再編小学校の施設について

＜質問・意見等一覧＞

⇒

＜回答＞

| | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・校区再編により新しい学校の人数が多くなると思うが、それに合わせて学童施設も大きくしてくれるのか。 ・校区区再編され小学校が減ったら、学童は増やすのか。すぐに定員割れしてしまうのでは。 | <p>学童施設は新しい小学校の中に設置することを考えていますので、今後のニーズを調査し施設規模を決めて造っていきます。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・子が手足に麻痺が残る状態で学校の選択も悩んでいる中、新しい小学校ができて、選択肢が広がりがりうれしく思っているが、新しい小学校のバリアフリー化について知りたい。 ・自分の子が軽度の麻痺がある。皆と同じように普通学級へ行けるとすれば、新しい学校のバリアフリー化などが気になる。 | <p>バリアフリー対策に関しては十分考慮して新しい小学校を整備していきます。今後、立ち上げ予定の準備委員会等で様々なご意見等をいただきながら、検討していきます。</p> |

⑤スクールバス、通学路について

＜質問・意見等一覧＞

⇒

＜回答＞

| | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバスについて、上御系小学校の児童で通学距離がかなり遠くなる地域がある一方、図でいくと大淀小学校区の中には第1期再編小学校にかなり近いところにありながらスクールバスの対象地域となっている。現状、大淀小学校区については全てスクールバスの対象となる予定なのか。 ・スクールバスについて、直線距離3km以上と書かれても良く分からないし、地図も小さくて分かりづらい。それと、下御系小学校や大淀小学校を停留所に、という風におおまかには計画に記載されているが、上御系小学校区の子はどうすればいいのか。東行部地区にも町民バスのバス停があるかと思うが、その近くに停まる可能性があるのか。また、そういうことが決まってくれば、また説明会のようなものを開催してもらえるのか。 ・自分の子が小学校になる時には一緒に登下校する子が中海には1人くらいで、徒歩通学で明和ジャスコへ行く大きい道を横断しなくてはいけない。1人で左右みて判断など小さいのでできず、歩道橋もなくとても心配。横の集落の子どもたちと一緒に通学できるようにするか、大通りに出るまでにスクールバスが寄ってもらえたらよいと思うので、検討してほしい。 ・小学校を減らすと通学が遠くなるので、スクールバスなどきちんと対策を立ててほしい。 ・交通の便はどうなるのか。 ・通学のバスはどこに送ってもらえるのか。バス停があまり遠いと歩いて帰ってくるのも時間がかかるので、いろいろ考えたり意見をしたい。 ・今の学校区（大淀、下御系）で区切り、スクールバスの利用をしていく方向だと知人から聞いたが、学校区で利用するのではなく、歩く距離を考えてバスの利用を検討して頂きたい。それが無理であれば、自転車通学も考えてほしい。長距離を歩くには、体力的に無理があるのでは。歩いて歩くのが嫌で学校に行きたくなくなり、最悪、不登校にもつながらないか心配だ。 ・バスに乗り遅れたら、学校には行けないのか。23号線のすぐ南側に住んでおり、上御系地区だが、再編小学校までかなり遠い。 | <p>現在の下御系小学校区及び大淀小学校区の児童全員と、第1期再編小学校より直線距離で3km以上の場所に居住する児童をスクールバスの対象者とする計画としており、上御系小学校区はほとんど直線距離3km範囲内に入っています。ただし、距離だけではなく道路事情等も考慮してスクールバスの対象範囲を決めていきますので、例えば、国道23号線より北の東行部、西行部といった地区などはスクールバスの対象とする可能性があります。具体的なバスの運行や停留所の場所、自転車通学の可能性も含め、詳細は今後、準備委員会で協議検討していきます。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバスの停留所について、各地区に公共場所ってそんなにあるのか。スクールバスにより徒歩通学の距離が短くなるのは、子どもたちの体力を養う面からどうなのかと思うし、停留所によっては子どもたちがすぐに帰らずその場で遊んでいく可能性があり、その管理面が心配。旧小学校を停留所とすれば遊具で遊んでいく可能性がある。その際、経年劣化した遊具は危険であり、適正に管理していく必要がある。地域の方々と話し合いを行い、きちんと安全面を考慮してもらえるのか。また、スクールバスの対象範囲の分け方も、友達と別のバスになるか等心配だ。さらに、同一ルート上を数台で時間を置いてスクールバスを運行させた場合、スクールバスの出発時刻が早い時間の子や遅い時間の子がいて不公平感が出てくる。子どもたちはちょっとした事にすごく敏感だ。 | <p>公共場所については旧小学校の他に津波避難タワーや各自治会の集会所などがありますが、現状、徒歩通学には子どもたちの体力を養っている効果があるため、可能な限り徒歩通学をしていただくことを考えています。その中で、下御系小学校及び大淀小学校の児童についてはスクールバスの対象とするともに、それぞれの学校を停留所とすることで、基本的に現状の通学体系と変わらず、それぞれの学校までは徒歩通学していただく計画としています。ただし、ルート毎に停留所を2箇所以上設ける計画としており、どの地区の児童がどの停留所へ集合するかを含め、細部は準備委員会で協議検討し、決定していきます。地域の力も借りるなど子どもたちの安全を第一に考えた運営方法を、今後考えていきます。</p> |

⑥防災面について

<質問・意見等一覧>

⇒

<回答>

| | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 地震や津波に耐える学校を造ってほしい。安全第一にしてほしい。 斎宮小学校に自分の子が通っていて、下の子ども通うことになるが、学校の老朽化が心配。南海トラフ地震が来ると言われている場所であるので、今の状態だと怖すぎる。他の学校に通わせている親御さんも同じことを思っていると思う。 | <p>新しく造る小学校等の施設については、当然、今後起こりうる大地震などの災害に強い施設整備を実施していきます。既存の小学校についても、必要な維持修繕はこれまでと同様に実施していきます。</p> |
|---|---|

⑦跡地利用、コミュニティ、まちづくりについて

<質問・意見等一覧>

⇒

<回答>

| | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 下御系小学校でいう「みいとフェスタ」など、各小学校で行っている祭典のようなものは今後再編されたらどうなるのか。子どもたちが楽しみにしている部分があるし、地域の子もたちとの和も大切にしていってほしいし、そういった行事等を地域の方がやりたいと思っている部分があるので気になる。 | <p>主催が各自治会になるので地域の方々に委ねられる所がありますが、何とか地域の伝統行事等を無くさないよう、子どもたちも参加して盛り上げられることができると考えています。今は大淀、上御系、下御系の各地域という概念がありますが、これらの校区が再編され一つの校区となることで、これらで一つの地域という形が生まれると考えます。将来的には、みいとフェスタに大淀や上御系地区の子どもたちが参加したり、祇園祭において下御系や上御系地区の子どもたちが山車を引くことができてもよいと考えます。このような思いを念頭に入れながら跡地利用検討委員会等でしっかり協議検討していきます。</p> |
|--|--|

⑧スケジュール、今後の進め方について

<質問・意見等一覧>

⇒

<回答>

| | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> スクールバスの停留所や、時間帯によっては子どもが帰ってくる時間が暗いとか、もともとあった地区とどう子どもたちが関わっていくとか、そういった細かい部分が気になる。そういったことは今後の委員会で意見を言わせていただく場があるのか。 | <p>今後、準備委員会を立ち上げて第1期再編小学校の開校まで設置する予定です。委員には学校関係者の他、保護者や地域の方々を考えており、その中でスクールバスや地域との関わり方についてなど、しっかり議論していきます。また、準備委員会の進捗に合わせて、校区再編対象地域への住民説明会も実施していく予定です。現時点の計画では、ルート毎に2箇所以上の停留所を設け、現在の大淀小学校や下御系小学校を停留所としており、校区が再編されても、現在の小学校まで歩いて通学している今の形は続け、その上で地域の見守りなどを通して地域との繋がりは続けてもらいたく想定しています。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> 前回の説明会では令和7年度に再編小学校ができるとの説明があり、かなり前の新聞では令和6年度だった。そして今回は令和8年度の開校とのこと。今後、また開校時期がずれる可能性はあるのか。 当初の予定では令和7年度の再編予定だったのが1年延期とのことだが、東日本大震災を踏まえた中での延期は、かなり痛手かと。なぜ1年遅れたのか。また、これから延びる可能性もあるのか。 | <p>令和7年度の開校スケジュールは、何らかの工程で1カ月でも遅延が発生すれば、開校が1年先延ばしとなるタイトなものでした。直前で開校が延期となれば、子どもたちや保護者はもちろん、先生方など多くの方々の迷惑となるため、開校時期を1年延期させていただきました。例えば今回のコロナ禍のような想定外の事象が発生した場合は再び開校が延期となる可能性もありますが、現時点で可能性は低いと考えます。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> いつ起こるか分からない災害に対し、校区編制に時間をかけている余裕があるのか。上御系地区には現在多くの分譲地ができている。時間をかけている校区編制には当然、分譲地に住むであろう人達も予測していますよね。 字単位の地域の声をまとめられる人が必要になってくるかと。地域や地区毎に代表者を決めて話をするなど必要ではないか | <p>校区の再編の理由の一つに、津波対策のためハザード区域外への学校施設の移転を挙げています。地域の方々とも準備委員会等を通じてご協力いただきながら、令和8年度の開校を目指します。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> 個別の回答がないのであれば、せめて当日配布する資料に意見一覧を載せるべきでは。役場職員が見て終わりでは、意見が反映されているかの判断もできない。 一方的に説明会をするのではなく、時期が来たら地域毎にグループワーク（地域の事を自分達で考える場）を開催していくのが良いと思う。「行政⇒住民」への一方通行では、反対意見ばかり言う人も多いと思う。地域の人々が考えていくことについては、「行政⇄住民」で意見を出し合っで決めていくことが良いと思う（PTA等とも連携してはどうか）。 | <p>頂いたご意見等は町ホームページ上に公開させていただいています。また、今後、説明会等を実施する場合は、必要に応じて資料を提供させていただきたく思います。説明会の方法も、進捗状況等を勘案しながら、その時にあったやり方を考えていきます。</p> |